

雨が強くなると避難がむずかしくなります。
早めに避難しましょう。

日頃の備えが大切！

- ①ハザードマップで浸水リスクを確認！**
自宅や日頃利用する場所の浸水リスクを確認しよう。
- ②避難所と道順を確認！**
最寄りの避難所を見つけ、安全な道順を確認しよう。
- ③情報収集方法を確認！**
インターネットやテレビ（データ放送）など、災害情報の入手方法を確認しよう。
- ④防災グッズを準備！**
避難時に必要なものをあらかじめ準備し、持ち出せるようにリュックなどに入れておこう。

情報をもとに避難しよう

1 2 避難に備える

気象庁が発表
ハザードマップなどで自分がとるべき避難行動やタイミングを確認しよう。
地域の防災訓練などに参加しよう。

河川情報 氾濫注意情報

氾濫注意水位
川の増水により、氾濫への注意を始める必要を示す水位。
3.30m 大橋観測所

3 高齢者等避難

長崎市が発令
高齢者等“避難に時間がかかる方は危険な場所から早めに避難しよう。
※在宅又は施設利用の高齢者及び障害のある方、妊婦、乳幼児がいるご家族など及びその人の避難を支援する方

河川情報 氾濫警戒情報

避難判断水位
川の増水により、今後氾濫のおそれがあることを示す水位。
3.80m 大橋観測所

4 避難指示

長崎市が発令
危険な場所にいる人は速やかに安全な場所に避難する。避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所、自宅内の安全な場所に移動。

河川情報 氾濫危険情報

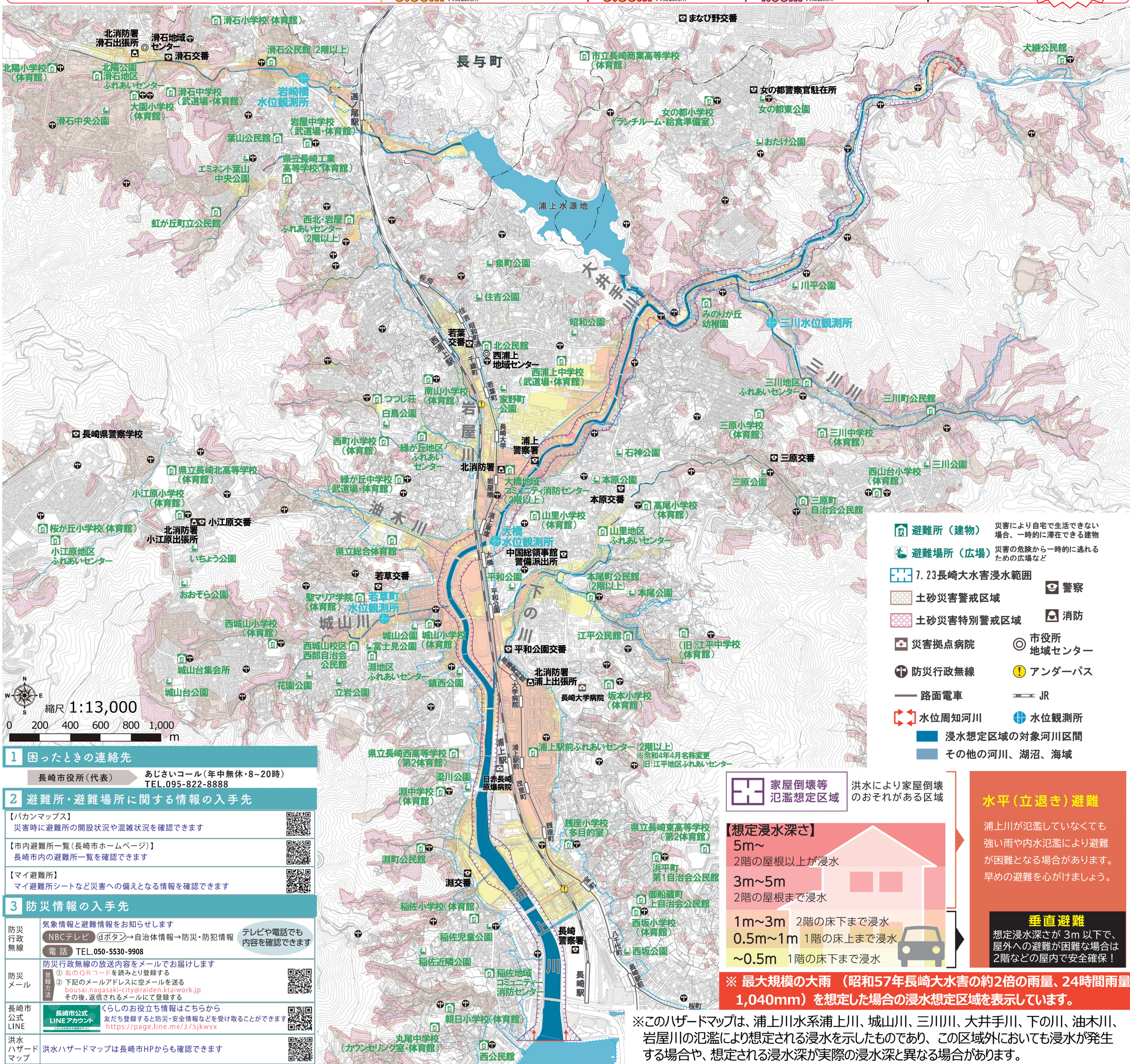
氾濫危険水位
川からいつ水があふれ出てもおかしくない危険な状況を示す水位。
4.60m 大橋観測所

5 緊急安全確保*

長崎市が発令
※災害状況は確実に把握できるものではないことから、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。災害発生又は切迫している状況。命の危機、直ちに安全確保！
警戒レベル4までに必ず避難！

河川情報 氾濫発生情報

川の氾濫が生じ、災害がすでに発生している状況。
水平避難が難しい場合は
垂直避難で安全確保！



- 避難所（建物）** 災害により自宅で生活できない場合、一時的に滞在できる建物
- 避難場所（広場）** 災害の危険から一時的に逃れるための広場など
- 7.23長崎大水害浸水範囲**
- 土砂災害警戒区域**
- 土砂災害特別警戒区域**
- 災害拠点病院**
- 防災行政無線**
- 路面電車**
- 水位周知河川**
- 浸水想定区域の対象河川区間**
- その他の河川、湖沼、海域**
- 警察**
- 消防**
- 市役所地域センター**
- アンダーパス**
- JR**
- 水位観測所**

1 困ったときの連絡先

長崎市役所（代表） あじさいコール（年中無休・8～20時）
TEL.095-822-8888

2 避難所・避難場所に関する情報の入手先

【バカンマップス】
災害時に避難所の開設状況や混雑状況を確認できます

【市内避難所一覧（長崎市ホームページ）】
長崎市内の避難所一覧を確認できます

【マイ避難所】
マイ避難所シートなど災害への備えとなる情報を確認できます

3 防災情報の入手先

防災行政無線
気象情報と避難情報をお知らせします
NBCテレビ（dボタン）→自治体情報→防災・防犯情報
テレビや電話でも内容を確認できます
電話 TEL.050-5530-9908

防災メール
防災行政無線の放送内容をメールでお届けします
① 右のQRコードを読み取り登録する
② 下記のメールアドレスに空メールを送る
bousai.nagasaki-city@nagasaki.jp
その後、返信されるメールにて登録する

長崎市公式LINE
くらしのお役立ち情報はこちらから
友だち登録すると防災・安全情報などを受け取ることができます
https://page.line.me/373jkwvx

洪水ハザードマップ
洪水ハザードマップは長崎市HPからも確認できます

家屋倒壊等
氾濫想定区域

洪水により家屋倒壊
のおそれがある区域



※ 最大規模の大雨（昭和57年長崎大水害の約2倍の雨量、24時間雨量1,040mm）を想定した場合の浸水想定区域を表示しています。

※このハザードマップは、浦上川水系浦上川、城山川、三川川、大井手川、下の川、油木川、岩屋川の氾濫により想定される浸水を示したものであり、この区域外においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※このハザードマップには、最大規模の大雨が発生した際に避難可能な避難所（建物）・避難場所（広場）を掲載しております。

準備しておきたい非常時持出品！

個人に必要な情報

- 健康保険証・運転免許証
- 診察券・処方薬・おくすり手帳
- マイナンバーカード

速やかな避難のため

- 紐なしの歩きやすい靴
- LEDライト
- 作業用手袋
- レインコート

いざという時の備え

※家には常に、3日分程の食料・飲料水を備蓄しておきましょう。

- 食料
- 飲料水
- 粉ミルク・液体ミルク
- 紙おむつなど（赤ちゃんがいる場合）
- 呼び笛・防犯ベル

なければ困るもの・いざという時の備え

- 通帳などの貴重品
- 常備薬
- マスクや補聴器
- ラップ・ポリ袋
- ウェットティッシュ・除菌アルコール
- タオル・下着類
- 毛布・寝ぐろ

- 衛生用品・生理用品
- 携帯電話・充電済バッテリー
- マッチ・ライター
- その他、個別に必要なと考えられるもの

状況を把握するため

- ポケットラジオ
- 予備の電池
- 筆記道具（油性ペン含）